

旧南高校舎を公開

館山 NPO が特徴などガイド

県指定有形文化財の旧 せたづくりが特徴だと 県立安房南高校木造校 舎(館山市北条)が27日、 一般公開された。卒業生 たちが校内を巡って、学生 時代を懐かしんでいた。

昭和5年に竣工した木 造2階建て。日本古来 の木造建築と新たに伝 わった西洋建築を融合さ した。安房高等女学校木造 校舎を愛する会が協力し た。

一般公開は、郷土の文 化財に理解を深めてもら おうと、県教委と安房高 が毎年実施。今年も、同 会の会員によるガイ ドツアーでは、当時の最 新技術で建てられたとい う建物の魅力などを解 説。左右対称につくられ た外観、耐震性に優れた 天井、梁(はり)、装飾 といった説 明に、参加 者らが熱心 に耳を傾け た。



校舎のガイドを受ける参加者ら＝館山

古い写 真、資料な どを並べた ギャラリー も開設さ れ、学生時 代に思いを

はせる卒業生が多く見ら れた。仲間同士で、当時 の思い出話に花を咲かせ ていた。

安房高の生徒も協力。 部活動での作品の展示、 書道、フォーモンス、吹 奏楽部、ギター部による 演奏で盛り上げた。

昭和55年度卒業生の草 薙早苗さん(56)＝館山 市＝は、「卒業以来初め て訪れたが、きれいなま まで驚いた。いろいろな 方の協力で、保存されて いて、卒業生としてあり たい」とほほ笑んだ。

同フォーラムの愛沢信 雄代表は、「木造校舎と 同時に、安房の地域教育 で、大きな役割を担って いたことも知ってもらえ たら」と話した。

きょう28日は、同 フォーラムと同会が主催 する「ミニ講話&証言の 会」がある。歴史などの 講話を聞き、思い出を語 り合う企画。午後1時半 から3時まで。